



「遊び」の計画

(財) 地方公務員等ライフプラン協会 鎌田 重道

遊

びの計画、私は昨年10月に還暦を迎えたのを契機に、退職後に備えて作ってみた。これまで、仕事上では自己申告制度の一環で、毎年、職務上の目標と成果を作成してきた。頭を悩まして目標作りをしたものだ。しかし、遊びの計画となると心ウキウキ、なぜかスイスイ筆が動く。遊びなので期限や成果に縛られることがない。結果を出せなくても自分は困らない、誰かに迷惑をかけることもない。プロセスを楽しめればよい。気が楽になる所以だ。計画したアウトドアの一部を紹介しよう。遊びも人生を豊かにするものだから、ライフプランで言う生きがいを構成する重要な要素だ。

【自転車編】

1 天然の要害、鎌倉幕府の切り通しをマウンテンバイクで訪ねる



鎌倉幕府があった鎌倉の市街は陸側三方を山に囲まれ、残り一方は由比ヶ浜海岸などの海に面している。戦を意識した天然の要害だ。陸路から出入りするには、山を掘削して造られた7カ所の切り通しの道しかない。鎌倉幕府に攻め入ろうとした新田義貞は、守りの堅い極楽寺坂の切り通しから攻め入るのは無理だと判断して、稲村ヶ崎の海岸線から攻め込むこととなる（かまくら子ども風土記）。そんな歴史上の役割りを思い浮かべながら、7カ所の切り通しをマウンテンバイクを利用して踏破する。

2 生まれ育った故郷を自転車で巡る

中学2年までの少年期を過ごした東京都北区赤羽台三丁目のまちを中心に、思い出多い周辺の地域を自転車で巡る。自転車なら長屋の路地裏からバス通りまでこまめに、広範

囲に探れるからだ。

自転車は自宅のある茅ヶ崎から赤羽駅までJR湘南新宿ラインにより輪行する。必要なのは乗車賃だけで別料金は不要だ。最近のロード用自転車は素材にカーボンを使用しているため軽く、分解・組み立てが容易だ。前後の車輪を外し、車体フレームとともにバッグに入れ肩に掛けて運ぶ。注意点は、他の乗客の迷惑にならないよう混み合う電車は避けなければならないことだ。

【カヤック編】

1 江ノ電が鉄橋を渡る光景を川面から写真に収める

100年の伝統がある「江ノ電」。藤沢から江ノ島を經由し鎌倉に至る路面電車だ。江ノ電と周辺の風景はスケッチや写真撮影のマトになっている。鉄橋通過の江ノ電の写真を川面から撮るため、江ノ島に注ぐ片瀬川河口からカヤックで川を遡る。カヤックは車のルーフトップに載せて河口まで運搬する。重さは20キロに満たないので、積み卸しは一人で行うことができる。人の手を借りないでできるのがいい。



2 桜の季節には観光船も出る横浜の大岡川をカヤックで巡る

河川の護岸に植えられた桜の木の枝は、太陽の光を反射する川面に向かって枝を張る。植物が光の方向に向かって枝を伸ばす向光性という性質だ。大岡川も例に漏れず、両岸の桜並木は川面の上に枝をたわわに張り出している。

さくらの季節はさぞかし華やかだろう。横浜港からカヤックで大岡川を上り、この景色を川面から愛でる。